

## 一般質問

和田  
議員

○松浦市総合計画（2020～2029）の「未来へ続くまち」について

**質** 今日、市内企業では、さまざまな業種において人材の確保に困難を極めておられます。平戸市では、平戸市キャリアアップ形成推進事業として、平戸市で介護職として就業すると最大20万円が交付されるという制度があります。平戸市における介護職の人材確保を推進するために、平戸市内の介護サービス事業所、または障害福祉サービス事業所に正規職員として就職された方などへ賞賜金が交付されるものです。本市においても同様の施策を検討、実施できないかお尋ねします。

**市長** 介護人材の確保、育成については、本市にとっても喫緊の課題であると承知しています。平戸市キャリアアップ形成推進事業の交付金については、交付要件に該当し、新規雇用される方にとって人材確保の有効な手段の一つと考えます。令和4年度介護労働実態調査の結果を見ると、現在の法人に就職した理由の多い順に、資格・技能が生かせるから、やりたい職場・仕事内容だから、通

勤が便利だから、となっています。一方、介護関係の仕事の離職理由は多い順に、職場の人間関係に問題があったため、法人や施設・事業所の理念や運営の在り方に不満があったため、と調査結果が出ています。

新規雇用を含め長期間継続して働いていたためには、職場環境の向上が最優先の課題であると考えています。ワーク・ライフ・バランスといった感覚を既に持っている若い世代の皆さまにとっては、時代に合った職場環境を必要としているのではないかと思います。業務の簡略化や生産性の向上のためのICTの導入といったことが重要であると考えています。市としては、こうした整備の支援をすることで、新規雇用の確保と既に働かれている介護職員の皆さんの雇用の維持ができるよう努めていきたいと考えています。

○行政サービスの体制整備について

**質** 建築主事を置く限定特定行政庁の廃止について、どのような状況になっているのかお尋ねします。

**市長** 限定特定行政庁の廃止については、12月議会以降、長崎県との協議を重ね、廃止予定を令和6年9月末としました。廃止までには法的手続が多くありますが、遅滞することのないように着実に進めていきます。

## 一般質問

立  
鈴  
議員

○資材高騰による農水畜産業の現況について

**質** コロナ感染症および世界武力紛争などにより、生活資材品が急激に高騰している。農業資材、漁船燃料代、畜産では肉牛価格の低迷などにより、生活は一層厳しさを増している。行政としての実行性ある施策が求められている。特に各市長会、議長会等あらゆる機会を通して中央に届ける手段を講ずるべきである。近年温暖化により海水温上昇と共に赤潮繁殖が予測せず発生することにより甚大な被害が生じる。担当課としての対策について伺いたい。

**水産課長** 直近では1月の中旬に伊万里湾の各所で調査をしており、有害プランクトンは確認していません。

**市長** 畜産業に限らず、行政として共有する課題については、長崎県市長会や九州市市長会、全国市長会などに取上げ、国への要望活動を行うのが当然だろうと思っています。特にコロナ禍の中でコロナ対策、また少子化対策、こういった全国に共通する課題についてはそのように取り上げています。

○市内商店街活性化に伴うプレミアム付商品券の効果について

**質** 市内の商店街はここ数年で一層厳しさを増している。コロナ感染症予防および行動制限等により客足減少の日々が続いている。数年前は購買金額に応じてポイントが得られ、現金化され市外で消費されていた。これでは効果は微々たるもの。今回のプレミアム付商品券は現金化できず、市内購買となり効果は大である。私が心しているのは、市内商店で賄える品は少々高くても市内で買いたい物をする。その商行為が結果的に閉店を目にする商店街を防ぐこととなる。市外量販店で買っても市内商店は潤わない。このプレミアム商品券の効果について伺いたい。

**産業振興課長** 青のまち松浦プレミアム付商品券につきましては、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響に伴い、生活者や事業者の消費、暮らしを支えることを目的に、2月15日に販売を開始し、2月21日に完売しました。詳細なデータはまだ把握できていませんが、普段購入されない商品や、プレミアム付商品券を使用し購入されたという事業者からの声や、子どもの進学に伴う制服の購入をするの